



清流news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-514-8309

発行日 1月・7月

Vol. 127

発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

第29回

多摩川・浅川クリーン作戦

ふるさとの清流をとりもどそう！

「多摩川・浅川クリーン作戦」は、市民の方々と行政が協力して多摩川・浅川周辺のごみ拾い等清掃活動を行う催しです。人と自然がふれあえる環境の保全を目指し、去年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年は開催を予定しております。

清掃区間は、東光寺グラウンドからクリーンセンターまでの多摩川右岸、大和田運動広場から多摩川合流点までの浅川両岸です。

毎年およそ2,000名もの方々に参加いただいておりますクリーン作戦も、皆様に支えられて今年で29回目の開催となります。自治会や様々な団体、ご家族や個人での参加もあるため、お気軽に参加していただくことができます。

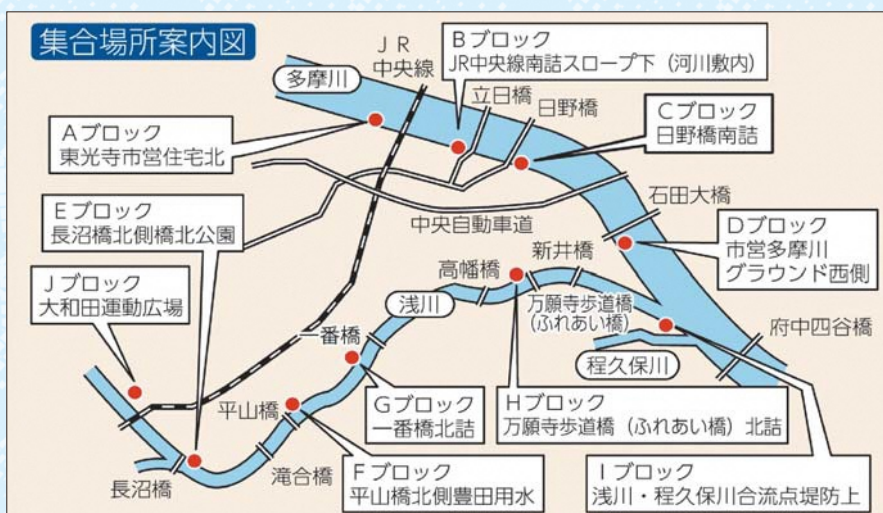
わたしたちの多摩川・浅川をきれいに保つため、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時 令和3年4月25日(日) 【雨天中止】

午前9時25分集合

午前9時30分開始～午前10時30分頃まで（流れ解散）

集合場所 日野市内10箇所（案内図参照）



※雨天の場合は当日午前7時30分までに中止決定

ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

問い合わせ：日野市役所緑と清流課 ☎ 514-8309



浅川潤徳

滝合

水辺の楽校

■浅川潤徳水辺の楽校

浅川潤徳水辺の楽校では毎年、潤徳小学校の子どもたちと浅川ふれあい橋付近を中心に、水辺環境とふれあう活動をおこなっています。また、5月～10月にかけては授業の一環で米作り体験をしています。

20年以上続くこれらの活動を継続するために、浅川潤徳水辺の楽校では一緒に活動してくださるスタッフを募集しています。子どもとの交流や水辺環境に興味のある方は、浅川潤徳水辺の楽校もしくは緑と清流課にお気軽にご相談ください。



潤徳小学校5年生 田んぼ学習の様子



2020年2月 野鳥観察の様子

■滝合水辺の楽校

水辺の楽校は、教育関係者・河川管理者・市民団体が連携して子どもの河川利用を促進し、地域における子ども達の水辺体験活動の充実を図るというものです。

日野市内には、「浅川潤徳水辺の楽校」と「滝合水辺の楽校（浅川っ子の会）」があり、毎年浅川を中心に様々な催しをおこなっております。（令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で潤徳、滝合ともに十分な活動を行うことができませんでした。）

滝合水辺の楽校では、鳥や水生生物に詳しく、子供たちとの環境学習に興味・関心をお持ちの方の参加を募っています。毎年2月にバードウォッチングを行い、子どもたちと水辺に生息する野鳥を観察し、普段見ることのない生態系を覗き、自然環境との触れ合いを体験しています。その中で、野鳥に関する詳しい解説があるとより一層理解が深まり、子どもたちの興味・関心も高まると考えています。

野鳥観察だけでなく、地元の小学生・中学生参加のもと、年間を通じ浅川での川遊びや清掃活動もおこなっています。この記事を読んで少しでも興味を持たれた方、子どもと交流するのが好きな方はぜひ、滝合水辺の楽校「浅川っ子の会」もしくは日野市役所緑と清流課へお問い合わせください。

水路上の
橋梁の
扱いについて

日頃より、市の環境行政につき皆様には多大なご理解・ご協力をいただいております。さて、日野市内には多くの用水が流れており、「水と緑のまち」を謳う日野市にとっては貴重な財産となっています。そしてその上に、橋が架けられているのを皆様も一度は目にしたことがあるかと思いますが、この橋は通路用橋梁として、通行目的で架けられております。橋の上に車を停めたり、物を設置したりと目的外での使用をすると、橋の劣化を促進させ、水路に影響を及ぼす恐れがあります。日野市の用水路を守るため、今後とも適切なご利用をよろしくお願い致します。

水門紹介 ～日野用水樋管～

八王子市平町の多摩川沿いには日野用水樋管があります。この水門は八王子にあります、日野市で管理しており、栄町・日野本町を渡る日野用水上堰、下堰を通水させています。ここは電動開閉が可能であり、唯一遠隔操作ができる水門なので、急な大雨にも即座に対応することができます。水門正面には広大な多摩川と平堰があり、見事に人工物と自然が調和した景色が広がっています。『水辺のある風景日野50選』にも選ばれている景色ですので、皆さんもぜひ水門付近を歩いてみてはいかがでしょうか。



日野用水樋管



(C) 2017 PASCO CORPORATION.

(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

街路樹キーパーを募集

街路樹キーパー制度とは、市民の皆さまに市が管理している街路樹の守り手・キーパーソンとして、維持管理や緑化活動を行っていただくボランティア制度です。

街路樹キーパーには名刺を交付し、落ち葉清掃、除草、ゴミ拾い、草花の植栽・育成管理（市と協働）、水やり・病虫害や枯損の点検、小枝の剪定などを行っていただき、市では、そのサポートとして道具類（ほうき、熊手など）の貸し出し、ボランティア保険の加入、活動に関する相談、ボランティア袋の支給・回収などを行います。

市民協働による、より良いまちづくりに、多くの市民の皆さまのご協力をお待ちしています。

- 申込方法 活動場所・内容などを相談の上、所定の申込書（市役所3階緑と清流課）などを提出
- 問い合わせ 緑と清流課公園緑政係

街路樹キーパー名刺の紹介

見本① 団体用	見本② 団体用	見本③ 団体用
みどりある街をみんなで守り育もう。 日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 ○○○自治会 日野 太郎 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 問合せ先： 日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話 042-585-1111 内線 3621・3622 FAX 042-583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp	みどりある街をみんなで守り育もう。 日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 ○○○自治会 日野 太郎 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 問合せ先： 日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話 042-585-1111 内線 3621・3622 FAX 042-583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp	日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 ○○○自治会 日野 太郎 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 《問合せ先》日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話(042)585-1111 内線 3621・3622 FAX(042)583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp
個人用	個人用	個人用
みどりある街をみんなで守り育もう。 日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 日野 花子 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 問合せ先： 日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話 042-585-1111 内線 3621・3622 FAX 042-583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp	みどりある街をみんなで守り育もう。 日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 日野 花子 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 問合せ先： 日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話 042-585-1111 内線 3621・3622 FAX 042-583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp	日野市公認 街路樹キーパー 登録No. 1 日野 花子 有効期間：2021.4.1～2026.3.31 《問合せ先》日野市役所 緑と清流課 〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1 電話(042)585-1111 内線 3621・3622 FAX(042)583-4483 E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

用水守募集

日野市緑と清流課では、「用水守」として市内の用水路の清掃活動をおこなって下さる方を随時募集しています。

かつて東京穀倉地帯と呼ばれた日野市には、江戸時代に多摩川・浅川から

ひかれた農業用水路が今も市内を網の目のように流れています。これら水路の総延長は116キロにも及ぶといわれています。また、市内には数多くの湧水が湧いているなどたいへん水環境に恵まれています。

日野市では、こうした恵まれた水環境を次世代に伝えるため、清掃・維持作業など様々な活動を行っています。一方で、市民の皆さまの水への関心も非常に高く、多くの方が身の回りの水辺を自ら清掃・維持してくださっています。

このような、ボランティアで水辺維持の活動をされている皆さまを少しでも支えることができればと生まれたのが「日野市用水守制度」です。「用水守制度」は日ごろ活動をする範囲を決め、あらかじめ「用水守」として登録いただくことで、万一の事故に備えた、市民総合賠償補償保険の対象者となります。

市では、今後も市と市民の皆さままで協力して良好な水辺の環境を維持管理・保全をしていきたいと考えております。

現在、400名以上の方が、用水守として活動しております。登録は、個人・グループ・自治会・企業など多くの方々を対象としています。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

問い合わせ

日野市緑と清流課 ☎042-514-8309



瀧澤 清美さん

皆さん初めまして。私は日野市生まれ、日野市育ち、日野市在住で現在は多摩川と用水に挟まれた地で助産院をしています。

川や土や木々の影響で他の地域より2〜3℃気温が低く、真冬は我が家の水道は凍ります。

しかし、冬の早朝に「けあ



らし」が立った景色は、本当に言葉に言い表せない程の美しさです。元々、助産師として次世代に繋ぐ環境の大切さについて熱い思いがあり、居住している多摩川の美しさを愛する気持ちから用水守に登録しました。広報の公募を見てもすぐに緑と清流課を訪れると会員ナンバーが1番と言う名誉な番号を頂き、運命を感じました(笑)。そもそも当時は用水守ではなく「用水里親」という制度名で「里親」という言葉にも職業的にひかれたのもきっかけです。

健康維持の為

多摩川歩きをしますが不法投棄が目につき、美しい自然を汚すモノとして腹が立ちます。ある日、いつものごみ拾いの際にトゲのある雑草が

刺さり、指先に炎症を起こした時がありました。用水守に登録していたので病院受診の際にも保証され、本当に有り難かったです感謝しています。用水路の不法投棄にしても、昔も今もあとをたたず憤りを感じます。

日野市や多摩地区のFacebookのコミュでも、それは話題にのぼり侃々諤々の議論になりますが、所詮キレイにしている人たちの意見でしかなく、肝心の不法投棄の当事者へはその声は届かない感じに、もどかしさがあります。用水や多摩川を愛する者として、もっと何とかならないかと考える日々です。

一緒に考えて下さる人がいましたら幸いです。

私たちは、これからも日野市の美しい緑と清流を守っていきましょ。



ダンボールコンポストで可燃ごみを減らませんか！

昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、生活が大きく変わった方も多いと思います。これまでより、自宅で過ごす時間が多くなり、家庭から出るごみが増えた方も多いのではないのでしょうか。

家庭から出る可燃ごみの4割くらいは「生ごみ」です。今、この生ごみを肥料として活用し、ごみを上手に減らしながら、家庭菜園など、充実した「おうち時間」を過ごす人が増えています。

生ごみ処理器には、さまざまなものがありますが、中でも日野市で注目を集めているのが『ダンボールコンポスト』。

市からの補助金もあり、手軽に始められることから、今年度、新たに多くの方が、生ごみ減量&有効利用に挑戦中です。

■ワンコイン（500円）で生ごみ減量！ 『ダンボールコンポスト』で生ごみを堆肥化してみませんか

生ごみ処理器の『ダンボールコンポスト』は、ダンボール箱、底板、基材、布カバーの4点がセットになっており、初めての方でも生ごみを手軽に堆肥化することができます。ワンコインで2～3か月程度生ごみを堆肥化でき、その後は基材（250円）を追加することで続けられます。また、お庭がなくても集合住宅のベランダなどでもできますし、出来上がった肥料の使い道がなければ回収もしています。

布カバーの縫製は高齢者談話室「ひなたぼっこ」が、ダンボールの組立、基材の袋詰め及び底板の製作・配達、障害福祉サービス事業所の「ふらっと・すずかけ」が行っており、ダンボールコンポストは生ごみのリサイクルができるだけでなく、障害者と

高齢者の雇用促進に寄与しています。

また、ダンボールコンポストの基材（中身）は、竹パウダーともみ殻くん炭です。竹パウダーには多摩地域で伐採したものを使用しており、里山の保全活動にもつながっています。

尚、夏場には、どうしても虫が出てしまうこともありますが、箱の形やカバーなどを、利用される方々のお声を活かして、改良を重ねています。

初めての方や使い方に困った時には、YouTubeの解説動画もありますし、生ごみリサイクルサポーター（市民）に相談いただくなどのサポートもあります。詳しくはお問い合わせください。



『ダンボールコンポスト』解説動画

購入について

■価格（配達料込）

- ・ダンボールコンポストセット 2,440円 → 補助金適用で、自己負担 **500円**
- ・基材のみ 1,045円 → 補助金適用で、自己負担 **250円**

※補助金適用は日野市民の方のみとなります

■補助金を適用しての購入可能数

- ・ダンボールコンポストセット 年度で1人2つまで
- ・基材のみ 年度で1人4つまで

■申込先 〒191-0021 日野市石田1-210-2

日野市環境共生部ごみゼロ推進課

電話 042-581-0444 E-Mail gomizero@city.hino.lg.jp



清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を載せて欲しい！」や「こんなイベントを企画して欲しい！」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。

次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

宛先

（お手紙、FAX、メール等でお願ひします）

日野市役所 環境共生部 緑と清流課
清流ニュース担当宛て

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

FAX 042-581-2516

メール seiryu@city.hino.lg.jp

水車堀公園の水車小屋を修繕しました

現在「小水力発電を実現する市民の会」では、日野市立東光寺小学校前にある（地図参照）水車堀公園の水車を小水力発電の動力として活用するプロジェクトを計画しています。

この水車の用水環境が水車を良好に動かし、発電するのに適しているとされ今回選ばれました。このプロジェクトに先じて市では、水車小屋周辺の環境を整備するべく、今年の2月に水車小屋の屋根を修繕しました。かつては老朽化によって今にも飛んでしまいそうでしたが、材質を変え、より丈夫な屋根にリニューアルしま

した。これからもプロジェクトの進展があり次第、清流ニュースにて随時取り上げたいと思います。



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。



水車小屋（旧）



水車小屋（新）

公園名の由来



●とせんばに（渡船場西）（街区公園102）

所在地…百草1265-20／面積…150㎡／開園日…昭和59年6月1日

この公園から東方およそ700mの地に、多摩川の一ノ宮渡船場（船場とも呼んだ）があった。

渡船は遠い昔（奈良時代と言われる）から相模街道や鎌倉街道を往来する旅人を乗せ、或いは江戸や甲州街道筋の各地と、このあたりの村々とを結ぶ大事な役割を果たしてきた。

また、毎年5月5日、府中大国魂神社の神輿は、この渡船場から「神の道」を通り、小野ノ宮を経て、府中に向かった。

長い歴史をもつこの渡船場も大正末年ごろ廃止された。

●たなかじま（田中島公園）（街区公園176）

所在地…落川1397-61／面積…603㎡／開園日…平成18年3月31日

浅川と多摩川の合流点に位置するこのあたりは、地名を落川といい、浅川

が多摩川へ流れ落ちることに由来します。

江戸時代から用水が縦横に走り、水田が広がる一方、川欠けや、洪水に見舞われる地域でもありました。

この公園の南西には田中島という少し高い場所があり、数軒の民家がありました。その中の一軒には小舟が常備されており、明治43（1910）年の大洪水ではその舟で近くの寺に避難したといわれています。

この公園のあたりの字名の元屋敷は、水害などにより地形が変遷する当時の事情を物語っています。



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

「緑の募金」にご協力を

(公財)日野市環境緑化協会と市の共催で、4月1日(木)から5月31日(月)までの期間に緑の募金運動を重点的に実施します。

この募金は、学校や公園など身近な地域の緑化推進や緑地の整備等に使われます。

緑豊かなまちづくりのため「緑の募金」にご協力をお願いします。

詳細は日野市役所緑と清流課ホームページをご覧ください。

問い合わせ

日野市環境共生部
緑と清流課 公園緑政係
☎ 042-514-8307 (直通)



ウェルカムツリーや生け垣で 市内に緑化をしませんか

市は、お子さんが生まれた方や転入された方又は新築された方などが記念樹を植栽する場合に歓迎を表し、ウェルカムツリーとして苗木代を10,000円までを限度として補助します。また、生け垣により緑化される場合も同様の補助をします。

この制度は、工事着手前に必ず申請、審査が必要です。

問い合わせ

日野市環境共生部
緑と清流課 公園緑政係
☎ 042-514-8307 (直通)



東光寺の小さな棚田

②東光寺の小さな棚田
東光寺グラウンドに立つと非常にさわやかな風を感じることが出来ます。このグラウンドの南側に2段の小さいながらも棚田があります。田植えの頃には、茂みの中に隠れている日野用水上堰からの小さな流れがこの田んぼを潤わせます。稲刈りの頃になるとトンボやバッタを捕る子どもたちがいいます。棚田から東光

みず
くらし
まち
水辺のある風景
日野50選

水辺のある風景 日野50選 選ばれた水辺を紹介します

寺グラウンドを望み、多摩川の土手の緑も十分堪能できる場所となっています。「東光寺の小さな棚田」としていつまでも残したい風景です。

田んぼとグラウンドの間にある「土手」はかつての多摩川の土手でこの辺りから日野用水下堰が取水されていました。取水堰そばのサイカチの木が、変わりゆく東光寺の風景を見守っています。

⑨谷仲山・東光寺第一緑地

―崖線からの湧水

日野台地崖線の各所から地下水が湧き出していますが、東光寺・日野エリアではこの2か所が貴重な湧水か所かもしれませぬ。谷仲山緑地(民有地)の湧水地は安定した水環境により、セキショウなども多く、最近では蛍も見ら

れるようになりました。

東光寺第一緑地は日野台地の崖線中ほどから水が滲み出てくるのが観察できます。近年の都市化に伴い動植物は少なくなってきましたが、周辺にはカタクリが群生しています。この場所は市民や大学生などボランティアにより保全活動が行われています。これらの湧水か所は市の清流保全条例により守られています。



谷仲山湧水



水草の宝庫、日野市

昨年(2020)の7月号では市内の豊かな水環境に暮らす魚を取り上げましたが、今回は水中に生える水草についてご紹介します。日野市は水草が豊富なまちで、市内の水辺、特に用水路では、33種類(内、外来種10種)の水草が確認されています(日野の水辺 多摩川・浅川・用水路の植物、2019より)。その中でも特徴的な種類をいくつかご紹介します。

●ササバモ

用水の流れの中に幅広の葉をたなびかせ、全長3mにもなる大型の水草です。多摩川から取水する日野用水にのみ分布しており、外来種にも負けたくましく群生する姿が見られます。

●ヒルムシロ

ため池や水田に生育する水草で、水面に笹の葉のような幅広の葉を広げます。かつては水田の厄介な雑草でしたが、農薬や水田の減少により数を減らし、多摩地域ではほとんど見ることができなくなってしまうしました。市内でも1か所の用水でしか、確認されていません。



●アイノコイトモ

市内では最も広く分布する水草で、糸藻の名の通り、幅が数mmしかない細長い葉をしています。

●セキシヨウモ

水中に長さ10〜80cmの細長い葉をたなびかせる水草です。開発により激減してしまい、豊田地区では保全も図られています。

●ミクリとナガエミクリ

河川や用水、池などに生育する大型の水草です。どちらもよく似ていますが、ナガエミクリの方が、湧水が流れるきれいな水辺を好み、分布が限られています。流れの中に葉をたなびかせる姿は、豊田地区では「カワウドン」と呼ばれ親しまれていました。花期になると花茎を水上に伸ばし、丸いボンボンのような奇妙な花(花の集まり)を咲かせます。



●外来種の水草

一方で市内では外来種の水草も増加しており、理科の実

験で有名なオオカナダモやコカナダモ、特定外来種であるオオフサモは千切れた茎からも再生する強い繁殖力を持ち、各地で群生しています。これら外来種の繁茂に加え、開発に伴う用水路の改修などの環境変化や、過度の清掃などの影響で、市内でも水草は急速に減少しています。

●用水と水草が織りなす「水の郷」

水草には生物多様性や水質浄化の効果に加え、適切に管理することで美しい水辺景観を形作ることもできます。日野市は市内でも有数の水草の宝庫であり、街中を流れる用水に緑鮮やかな水草がたなびく姿は、まさに「水の郷」の象徴です。

この豊かな景観を、街づくりの中でうまく活かしていくことができれば、日野市の特色としてさらに誇れるものになると思います。



文 日野の自然を守る会

写真

片山 秀敦
片山 秀敦

あとかき

寒かった季節も過ぎ、日々暖かくなってきました。

コロナ禍で新しい生活様式に慣れた方、戸惑う方いろいろな生活の中でお過ごしと思っています。

いずれにしてもストレスがたまらないように考えていきたいものです。

新緑の季節でもありコロナ対策をしつつ自然の中を散歩するのも気分転換になると思います。

私は、花粉症の季節真つただ中で、日々泣きながら過ごしているのになかなか思うようにいかないのが残念です。何か良いストレス解消法がありましたら教えていただきたいものです。

さて、今年度から清流ニュースは年二回発行となります。刊行回数は減りますが、その分、皆様により充実したニュースが届けられるよう担当者一同努めてまいりますので、今後ともよろしく願っています。